

◆ 平成27年度 活動報告シート ◆

団体名：氷川の杜まちづくり協議会

代表者：会長 小峯政昭

URL：

1. 活動が必要とされた状況

氷川参道は、さいたま市の歴史・文化的資産であり、都心部に残された貴重な緑の空間です。

しかし、通行人が並木敷きへ立入ることにより、並木敷きは締め固まり、樹木が傷んできている問題があります。

本活動は、氷川参道を緑豊かな歩行者系のシンボル軸として将来にわたり引継ぐため、並木敷きへ低木の植栽を行うことで通行人の立ち入りを防ぎ、現状の並木を保全し、また、参道にふさわしい景観の整備を行うことを目的としています。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

神社、協議会、市の三者協働により事業を実施、秋から初春にかけて、並木敷きへの植栽及び竹垣の設置を行いました。

主な活動は以下のとおり。

実施区間：氷川参道東側並木敷き（南大通東線以北 総延長約220m）

1) 植栽の実施

実施時期 平成27年11月7日、11月21日 各日の午前・午後

参加者 各日の午前・午後 各20名程度

内容 中低木植栽を行った。

2) 竹垣の設置

実施時期 平成27年2月6日 午前

参加者 20名程度

内容 並木敷きに立ち入らないよう景観に配慮した形で竹垣を設置した。



3. 活動の成果

事業開始から6年目となり、参道の東西への植栽がほぼ完了してきており、並木敷きへの立ち入りの防止と、景観の向上という成果を達成している状況です。

今年度は、店舗等が多い区間で実施が難しい事が想定される箇所もありましたが、これまでの植栽の取り組みを御存じの方が多く、快く承諾をいただき、計画どおりに完了することが出来ました。これまでの当協議会の取り組みにより、沿道の方々の並木敷き保護に対するご理解も浸透してきている成果だと言えます。

4. 今後に残された課題

これまでの活動によって、約1.2kmの区間の植栽が完了し、並木敷きへの立ち入りや景観向上の成果を上げています。一方で、これまで植栽した中低木が枯れてしまっている区間もあり、実施完了後の継続した維持管理が課題となってきています。今後も当協議会では、良好な氷川参道の並木敷きの維持のため、引き続き活動を継続していく予定です。